

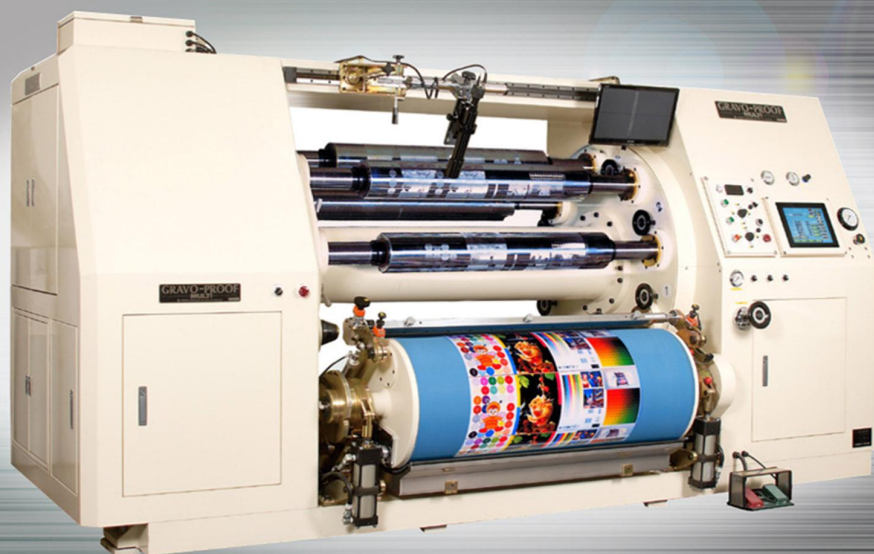
第21回 千葉元気印企業大賞 優秀製品・サービス賞

グラビア印刷を極める。

次世代型(デジタル装備)8色グラビア校正機

GRAVO-PROOF
MULTI-EX

- 時間短縮と操作性の大幅な向上
- 原材料ロス・産業廃棄物の大幅カット
- 本機稼働率の大幅なアップ
- 最大12色まで対応可能



株式
会社

日商グラビア

<http://www.nissio.co.jp>



IT経営実践認定企業



GREEN PRINTING JFPI
F-H30008

〒276-0022 千葉県八千代市上高野1436-2 TEL.047-483-1184(代) FAX.047-483-1030

2015年12月17日

株式会社日商グラビア
代表取締役
赤穂 昌之 殿

株式会社日本工業新聞社
フジサンケイ ビジネスアイ
代表取締役社長 遠藤 一夫

「第21回千葉元気印企業大賞」の審査結果について

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたびの「第21回千葉元気印企業大賞」審査会におきまして、下記の通り、貴社の受賞が決まりました。誠にありがとうございます。

◇大賞（知事賞）	株式会社協和
◇優秀製品・サービス賞 奨励賞	株式会社日商グラビア 京成自動車工業株式会社
◇優秀技術賞 奨励賞	サンレイ工機株式会社 マコトプリンティング株式会社
◇優秀経営賞 奨励賞	平和交通株式会社 千葉オイレッシュ株式会社
◇ベンチャー賞 奨励賞	株式会社レステックス 株式会社大菜技研
◇地球環境貢献賞 奨励賞	株式会社アイ・エヌ・ジー 三井商事株式会社
◇特別賞（地方創生賞）	株式会社グリーンクラブ千葉夷隅ゴルフクラブ

今回の審査結果を、フジサンケイビジネスアイならびに産経新聞（千葉県版）に掲載いたします。2016年1月中旬の掲載を予定しており、これをもちまして正式発表とさせていただきます。

授賞式は2016年3月10日（木）、京成ホテルミラマーレ（最寄：京成線千葉中央駅）にて行なう予定です。

敬具

【問い合わせ・画像データ送付先】

フジサンケイビジネスアイ
営業・事業本部 千葉元気印企業大賞事務局 富山俊作
shunsaku.tomiya@sankei.co.jp
〒100-8125 東京都千代田区大手町1-7-2
TEL. 03-3273-6180 FAX. 03-3241-4999



第21回 千葉元気印企業大賞

受賞企業決まる

第21回「千葉元気印企業大賞」の受賞企業が決まった。大賞・千葉県知事賞には副賞として50万円、各部門賞には15万円、特別賞（地方創生賞）には10万円、各奨励賞には5万円が贈られる。このほか、奨励賞を含む全企業に特別協賛の千葉ロッテマリーンズから観戦チケットも贈呈される。各受賞企業は次ぎのとおり。
(カッコ内は代表者名、所在地、電話番号)

審査委員講評

高橋俊之・千葉県商工労働部産業振興課課長

今回も、大賞を受賞された協和をはじめ、優れたサービスや独自技術を持つ企業など、様々な企業から多数の応募があり、多くの企業が地域に貢献しながら創造的な事業を展開されていることが感じられた。これからも千葉県から元気な企業がたくさん育ってくださることを期待している。

庄司英実・千葉県産業振興センター理事長

今年は例年を大きく上回る応募があり、千葉で元気に活動している多くの企業の姿を拝見し、本当にうれしく思う。優秀技術賞を始め、どの部門も素晴らしい内容であり、難しい審査となった。県内でも地方創生の取組みが進んでいる。千葉を元気にするのは中小企業の頑張りだと考えており、今回応募された各企業の今後の活躍を大いに期待する。

相村一郎・千葉県商工会議所連合会事務局長

企業が「ゴーイングコンサーン」として将来にわたって事業活動を継続していくためには、人工減少や技術革新、消費スタイルの変化や新たなビジネスチャンスの発生など様々な「外部環境」の変化に柔軟に対応しなければならない。そのために企業は、従業員、組織体制、技術力といったいわゆる「内部資源」を磨き、高め、時には見直すという不断の取り組みが求められる。今回の受賞企業は、外部環境の変化の中で捉えるべきビジネスチャンスを的確に見定め、そのために自らの内部資源を「自社の強み」へと磨き上げて打って出るという点で共通しており、活動的な様はまさに「元気印」の名に相応しいと思われる。

花澤和一・千葉県経営者協会専務理事

わが国は都市・地域間競争の時代に突入し、ヒト・モノ・カネの大移動が始まっている。現状に安住していれば、企業・人口は流出し、地域の活力は失われていく。地域の活力は、地域内に立地する企業の経済活動規模や成長性に大きく左右されることから、当該企業の競争力強化がカギを握る。しかし、企業の競争力強化には、交通インフラ基盤の整備や資源エネルギーの安定供給、規制改革などの経営環境整備が欠かせない。千葉県元気印大賞表彰も今年で21年目を迎え、地域の活力をけん引する優秀な中小企業が選ばれた。我々は、こうした中小企業が十分力を発揮できるよう、経営環境の整備を支援する努力を怠ってはならない。

松永光男・千葉県中小企業団体中央会事務局長

受賞企業は、いずれも優れた技術、サービス等を有し、今後の成長が期待でき、心強く感じた。本受賞を契機に、更なる飛躍を遂げられるよう切望する。

北村孝司・千葉大学学術研究推進機構産業連携研究推進ステーション副所長

モノやサービスの本質をつきつめて価値を高め、新しい技術の創生や顧客の信頼を勝ち取っている企業を選定されている。現在の事業内容を地道に推し進め、その上の創意工夫による展開を図ることも、企業としての信頼を勝ち取るために重要である。

渡辺昇・千葉県経営品質協議会常任幹事

毎年審査に参加して感じることは、千葉県にはこんなに素晴らしい会社が沢山あり、県の経済発展に日々貢献されていると実感。申請書類を作成されるプロセスで自社の現在および将来に向けた独自性は何なのかそれをどこまで組織展開できているのかなどを整理することは、受賞有無に関わらず、大変価値のあることだと思う。千葉県元気印企業大賞が皆様の企業活力の一助として活用されることをおすすめする。

【千葉元気印企業大賞・千葉県知事賞】

◇協和

(若松種夫、東京都千代田区東神田2-10-16(本社)、千葉県野田市 桐ヶ作512(千葉工場)、☎03・3866・7511)

〈受賞理由〉

年間約20万本のランドセルを専門に生産する千葉工場は、地元の高校から新卒社員を雇用するなど、8割以上の従業員を地元住民で占めており県内の雇用機会を創出する。また従業員の有給休暇取得率は100%で、2014年から実施する「子育て応援プロジェクト」では、出産から高校入学まで合わせて100万円を支援するなど、経済面や生活面での幸福度向上にも努めている。



【優秀技術賞】

◇サンレイ工機

(津覇浩一、千葉縣市川市本北方2-26-16、☎047・491・3041)

〈受賞理由〉 カーボンや鉄パイプの表面に薄い金属を被覆することで多彩な表面処理を可能にしたロール製造技術を持つ。大手化学メーカーと共同で開発した高性能カーボンロールは、液晶パネル用フィルムの幅広化や薄肉化に貢献する。



【地球環境貢献賞】

◇アイ・エヌ・ジー

(木村実牙男、千葉県野田市中野台鹿島町11-26、☎04・7125・7471)

〈受賞理由〉 事業をアスベスト除去工事に特化し、売上の80%を占める。アスベストの飛散、流出を防止する同社の除去工法は、千葉、東京、埼玉、神奈川の都市再生機構などの指定工法として採用されている。



【優秀経営賞】

◇平和交通

(金子明美、千葉県千葉市稲毛区宮野木町577-1、☎043・256・5111)

〈受賞理由〉 1989年に全国で初めて女性バス乗務員を採用した平和交通。団塊世代の退職にともなう乗客数の減少が影響したものの、「東京～成田空港高速バス事業チャレンジ」でジェイアールバス関東と連携を開始。業績悪化を回避し売上増加につなげた。



【優秀製品・サービス賞】

◇日商グラビア

(赤穂昌之、千葉県八千代市上高野1436-2、☎047・483・1184)

〈受賞理由〉 グラビア多色校正機を独自開発。食品用包装フィルム(軟包装資材)など、量産する前に試し刷りできるため印刷コストの削減につながる。グラビア多色校正機を手がけるのは世界でも同社のみ。



【特別賞(地方創生賞)】

◇グリーンクラブ千葉夷隅ゴルフクラブ

(岡本豊、千葉県夷隅郡大多喜町板谷588、☎0470・83・0211)

〈受賞理由〉 ゴルフ用品やコースの維持管理、レストランで消費する食材など可能な限りで地産地消を実践。外部購入費の90%、約5億円を地元地域から購入する。雇用では現在120名のスタッフのうち地元雇用が100名を占める。



【奨励賞】

優秀技術賞部門

◇マコトプリンティング

(峯松清種、千葉県八千代市大和田新田655-9、☎047・450・5258)

〈受賞理由〉 機械メーカーと共同開発した自動折加工機で食品用紙製パッケージを製造する。糊を使用せず一枚の紙から形成する独自の加工パッケージは、食品を容器に詰めた後に油が染み出てこないなどの工夫が施されている。



優秀経営賞部門

◇千葉オイレッシュ

(野村進一、千葉県君津市笹1266、☎0439・39・3033)

〈受賞理由〉 特許を取得する廃油再生処理装置で、添加剤入りの廃油を完全再生する方法を確立する。経常利益率が常に5%を超えるなど財務健全性も高い。離職者が10年以上いない実績は社員を大切に雇用管理を裏打ちする。



ベンチャー賞部門

◇大菜技研

(大野宏策、千葉県船橋市本町2-22-15、☎047・431・1401)

〈受賞理由〉 2014年1月に粘弾性を



測定する装置「レオメーター」を製造、販売する会社を設立。産総研技術移転ベンチャーにも認定される。扱いやすく高価な装置に負けない性能を持つレオメーターの普及を目指す。

地球環境貢献賞部門

◇三井商事

(山岡優、千葉県千葉市稲毛区穴川3-11-12、☎043・255・6666)

〈受賞理由〉 リサイクルシステム「リガイヤ」を独自に開発。捨てるしかなかった無機性汚泥の再資源化を可能にする。リサイクルによって生まれた砂「SRサンド」は、山砂や河砂の搾取によってできた窪地を埋めるなどの利用方法がある。



優秀製品・サービス賞部門

◇京成自動車工業

(小林広人、千葉縣市川市東大和田2-5-3、☎047・377・0131)

〈受賞理由〉 日本で初めて電気自動車(EV)の放送中継車を日本放送協会と共同開発。低騒音のため早朝の住宅街などで威力を発揮する。4K、8K放送技術をサポートする放送中継車もあり、東京五輪の中継に期待が寄せられている。

